

**授業概要**

本講義では、中学校や高等学校の教育において社会科および公民科が果たす役割（意義）について理解することを目的とする。特に、学習指導要領や教科書・参考資料を扱いつつ、中学校社会科および高校公民科で扱われる分野について、その重要なポイントを考える。また、学生によるグループ発表を行い、①授業を行う際の事前準備を意識すること、②教育の実践例を理解すること、を目指す。

尚、本講義では、担当者による講義形式の授業に加えて、受講生同士のディスカッションや発表、ミニレポートを行う。そのため、自主的に学ぶ意欲や講義への積極的な参加が求められる。

**授業計画**

第 1 回	ガイダンス：社会科・公民科を学ぶ意義とは何か？
第 2 回	学習指導要領における中学校社会科および高校公民科の教育の役割（目標や特徴など）
第 3 回	今日の社会環境から捉えた中学校社会科および高校公民科の教育の意義と課題の考察
第 4 回	政治分野の教育①：教科書・参考資料にみる「政治」の重要なポイントの考察
第 5 回	政治分野の教育②：新聞等を活用して、私たちの生活と政治のつながりを討論する。
第 6 回	経済分野の教育①：教科書・参考資料にみる「経済」の重要なポイントの考察
第 7 回	経済分野の教育②：映像資料を活用して、私たちの生活の経済の結びつきを討論する。
第 8 回	国際関係分野の教育①：教科書・参考資料にみる「国際関係」の重要なポイントの考察
第 9 回	国際関係分野の教育②：情報機器を活用して、私たちの生活と世界との関係を討論する。
第 10 回	現代社会分野の教育①：教科書・参考資料にみる「現代社会」の重要なポイントの考察
第 11 回	現代社会分野の教育②：情報機器を活用して、私たちの生活と現代社会の関係を討論する。
第 12 回	倫理分野の教育①：教科書・参考資料にみる「倫理」の重要なポイントの考察
第 13 回	倫理分野の教育②：新聞等を活用して、私たちの生活と倫理との関係を討論する。
第 14 回	社会科・公民科教育の実践研究①：公民科教育の実践例に関する調査・グループ発表・討論
第 15 回	社会科・公民科教育の実践研究②：公民科教育の実践例に関する調査・グループ発表・討論
第 16 回	筆記試験：講義内容のポイントを理解し、その重要性を考える。

**到達目標**

- ①学習指導要領における中学校社会科および高校公民科の教育の意義や特徴を理解する。
- ②教科書・参考資料から、各分野のポイントを捉える。
- ③中学校社会科および高校公民科教育の実践例を調査・発表し、その特徴や課題を考察する。

**履修上の注意**

受講者数に応じてグループ発表の日程を変更する可能性があることに留意してほしい。  
原則として遅刻・欠席は認めない。  
不必要な私語や携帯電話の使用は禁止する。

**予習復習**

社会で起こっているニュースに関心を持ち、新聞・テレビ等の情報を意識すること。  
講義中に配布した資料の内容について復習するとともに、補足事項について各自で確認すること。  
グループ発表に際して、十分な調査・事前準備を行うこと。

**評価方法**

筆記試験（40%）、グループ発表（40%）、ミニレポートを含む講義への参加・貢献度（20%）

**テキスト**

教科書：文部科学省「中学校学習指導要領」および「中学校学習指導要領解説：社会編」  
文部科学省「高等学校学習指導要領」および「高等学校学習指導要領解説：公民編」

参考書：山崎広明[2010]『もういちど読む山川政治経済』山川出版社

小寺聡[2011]『もういちど読む山川倫理』山川出版社

※毎回の講義でプリントを配布する。また、上記以外の参考文献は適時紹介する。